

海老名で雨量最多記録 杉久保北で土砂崩れも

台風10号の影響で8月29日午後から72時間の累積雨量が過去最多となる444.5ミリを記録した。

8月30日には目久尻川の戸中橋（本郷）で避難判断水位を超えたほか、杉久保北の市道では土砂崩れが発生し向かいの企業の壁を押し曲げた。通行できるまで8日間を要した。

隣の座間市や綾瀬市でも一部の道路で冠水した。東海大学前―秦野間で盛り土の流出が確認され、小田急線のの運転再開に時間を要した。

会員のひろば

私の日常 森田 光江

仕事を辞めて早25年余り。毎日が日曜日の気楽な生活を楽しんでいます。と言っても暇なわけではございません。雨が降らなければ週平均6日はテニスラケットをにぎっています。そして空いてる1日は地区の防犯パトロールに参加しています。

テニスは終日の時もありますが、たいがいは半日程度です。その合間に趣味の家庭菜園を少しばかりやっています。どうしても楽しいテニスを優先しがちになってしまいうので、菜園の方はタイミングを逸する事が多くなっています。

特に夏野菜の収穫は顕著に結果に結びついています。多くは大きくなり過ぎて無駄にしてしまうことが大半で、もったいないの一言でおおいに反省しています。



テニスと家庭菜園に時間が取られているので、さぞかし料理はしないのではと思われがちですが、これまた結構3食、しっかり作って食べております。昼を挟んでのテニスの時は、夫の昼食と自分の弁当を作ってお出かけます。そんな日は朝の5時起きで頑張っています。

そして夕食は必ずメインの料理を作ります。献立は結婚当初に購入していたNHKきょうの料理のテキストから選ぶことが多いです。今は購読しておりませんが、以前に購読していた15年分くらいのテキストが本棚に有るので月ごとに参考にしていきます。

時には自分で決めるのが面倒で、例えば該当月のテキストを5冊くらい夫に渡して「食べたいものを選んで」と言って探してもらおう時もあります。このテキストはとっても便利に使用しており私の料理の先生みたいな存在になっています。

そして一日活動が終わると、夕食の時は必ず1杯、いや2杯と飲みながら、今日あった出来事や野球の大会選手のことや、はたまた将棋の藤井聡太坊ちゃんの話など、とりとめのない会話をしながら2時間近く飲んだり食べたりです。時々居眠りも入りますが、あとかたづけの時間を考えて9時半頃にはお開きにします。私はラケットだったり鉄だつたり包丁だつたりを持ち替えながら、これからも平凡な日常を維持していきたいと思っております。

「遠い遠い思い出」

小田 つゆ



過去をたどって思うのは、今この原稿をしたためてる8月の行事です。毎年この季節が近くなり、テレビや新聞などに「お盆に帰省」という言葉が出てくると敏感になります。秋田の実家に帰ってお盆料理を食べるのが懐かしく思い出されて、私には「帰省」への思い出入れが強いのかも知れません。

15歳で上京して60年が過ぎました。就職して昼は工場の仕事、夜は学校に行つて寮に戻るだけの生活が淡々と過ぎて行く毎日でした。

1、2年は故郷に帰る余裕もありませんでしたが、だんだんと5月の連休やお盆、そしてお正月と休みが多くなり、無性に田舎に帰りたいと思うようになりました。しかし、当時は簡単には乗車券が購入できませんでした。

お盆の時期に一斉に故郷に帰省する人達。私もその中の一人でしたので、1ヶ月前の乗車券が売り出される日には駅の構内で徹夜して並んだことが何度となくありました。それでも購入できないときは、品川から帰省バスで12時間ぐらいかけて帰ったこともありました。

私だけではなく、多くの方々がこのような想いをして帰省されたのではないのでしょうか。今は飛行機・新幹線で日帰りも可能になり便利になりましたが、かえって帰れる機会も少なくなりました。

いつも春の県人会の懇親会で話題になるのが、秋田での思い出話や山菜の種類や人口の減少・災害のことです。明るい話題や楽しい事だけではなく、現実の厳しさを思い知らされています。

自分の遠い遠い思い出と題してこの文を書いたためでしたが、皆さんの故郷を想う気持ちも、きっと変わらないでしょうね。「帰りたいなあ、秋田に…」

「編集後記」

長く続く暑い夏にゲリラ豪雨など、確かに異常気象が続いていると思われまます。10月になったら涼しい日もあって、すすきの穂がたなびく様を見られることを期待します。（小野）

